

『神戸新聞』 「随想」 2019年6月11日夕刊

兵庫県の夜間中学校

小学校・中学校に通えなかった人のために、夜間中学がある。

一九四九年、日本で初めての公立夜間中学が神戸市立駒ヶ林中学校に誕生した。実際の開設は、その二年も前だ。当時の資料に「家業の手伝いや就労して家計を助け、毎日の登校が無理な生徒が二〇名ほどいることが判ったのです。そこで『夕方、それらの生徒を集めて勉強してみようやないか』と始まったのが昭和二二年であったわけです。そして：昭和二四年二月一日に神戸市教育委員会の許可を得て、正式な夜間学級が始まりました」とある。

一九五〇年代前半、兵庫県内にはわかっているだけで二八校の夜間中学があった。全国の都道府県の中でも抜きんで多い。当時の兵庫県民が、義務教育を受けられない人々にいかに温かく手を差しのべていたかがわかる。

伝統は今も受け継がれている。神戸と尼崎には三校の公立夜間中学がある。姫路に新たな夜間中学を作ろうという動きもある。丹波篠山など各地で、ボランティアが自主夜間中学を運営している。

ある在日ベトナム人の少女は夜間中学を卒業後、専門学校に進学して懸命に学び、看護師になった。五〇歳をすぎてようやく日本に帰国できた中国残留孤児は夜間中学で学び、日本で就

職を果たした。戦争と貧しさのために学校に行けなかった八二歳のお年寄りも人生で初めて、ひらがな・カタカナの読み書きや簡単な計算ができるようになった。昼間の学校で不登校になり、就職できずにずっと家に引きこもっていた人々も、夜間中学で新たな一歩をさぐっている。

もし読者の身近に小・中学校に通えなかった人がいたら、「夜間中学があるよ」とぜひ教えてあげてほしい。兵庫県の夜間中学は、そうやって七〇年間以上、続いてきたのである。